



交通安全対策

阪神高速グループでは、交通事故を削減してより安全な高速道路とするため、交通安全対策に取り組むとともに、関係機関とも連携し交通安全啓発活動にも取り組んでいます。

交通安全対策基本計画の推進

社会状況の変化やこれまでの交通安全に関する各種取り組みの成果および課題を踏まえ、今後、交通安全対策のさらなる実効性向上や底上げを実現していくための方針を「交通安全対策 基本計画(2024-2028年度)」としてとりまとめました。2024年度は、本基本計画の第1期(2024-2025)として、追突事故などの多発区間に対し効果・実績のある施策を確実に推進しつつ、特に多発する区間などを対象に詳細分析を通じて実効性の向上を図っていきます。また第2期(2026-2028)以降の、さらなる底上げを見据え、実効性があり汎用性も高い施策の展開に向けた考え方の整理や新技術の開発、交通安全コンテンツの作成に注力していきます。



交通安全対策基本計画

交通安全啓発活動の実施

「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT(通称SNDプロジェクト)」は、阪神高速道路(株)、西日本高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)および(株)エフエム大阪の4社が協同して、高速道路での危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すプロジェクトです。スマホ操作し「ながら」や、イライラし「ながら」などの危険運転を防止するための交通安全啓発活動の一環として、2023年度は「伝えよう!届けよう!冬のSNDメッセージキャンペーン」を開催しました。1,700件を超える応募があり、グランプリ作品によるラジオドラマCMの制作を行いました。また、警察とも協力し、歩行者などによる高速道路への誤進入に対する注意喚起チラシを制作し、大阪府下の警察署などで配布を行いました。



SND審査会

快適走行プロジェクトの推進

本プロジェクトでは、走りやすさへの課題を改善し、より安心して阪神高速道路をご利用いただくために、カラー舗装や分かりやすい案内表示に取り組むほか、スムーズに目的地に向かえるような情報の発信や走り方のコツをお知らせするコンテンツを拡充させるなど、ハードとソフト両面からさまざまな取り組みを実施しています。2023年度は、近畿道と接続する守口、東大阪、松原の各JCTおよび直前出口の連続分岐区間を対象に、出口を示す矢印を青色に着色した案内標識を設置するとともに、路面も同色のカラー舗装を施すことで、分かりやすい道路案内の実現を図りました。



分かりやすい案内標識・カラー舗装